

特集

今期のトピックを最終チェック

# 3月決算総特集

- I 回収可能性適用指針が本適用に  
**税効果会計・法人税等会計基準案のポイント**
- II 実務対応報告32号をどう適用するか  
**減価償却方法の変更に関する実務ポイント**
- III 各場面での割引率はマイナスかゼロか  
**マイナス金利に関連する諸論点の実務ポイント**
- IV 会計上の分類判断は慎重に検討を  
**リスク分担型企业年金の会計処理・開示のポイント**
- V IFRS適用の国内子会社等も対象に  
**実務対応報告18号等の改正案のポイント**
- VI 運営権対価、更新投資  
**公共施設等運営事業の会計処理・開示のポイント**
- VII 各論点をパターン別に押さえる  
**翌期に合併等が行われる場合の会計処理のポイント**
- VIII リストリクテッド・ストックなど  
**新たな株式報酬の会計処理・開示のポイント**
- IX サマリー情報の様式使用義務を撤廃  
**短信・有報の記載内容見直しのポイント**
- X 未発効の重要基準もフォローする  
**IFRS任意適用のポイント**
- 恒例企画 **平成29年3月決算関連資料一覧**

今年の3月決算では、回収可能性適用指針、税制改正に伴う減価償却方法の変更に関する実務対応報告、マイナス金利に関する実務対応報告など、多くの会計基準等が適用となるが、さらに、短信・有報の記載内容の見直しも行われている。実務で気になる点も含め、各論点をフォローしてもらったので、巻末の決算関連資料一覧とあわせてご確認いただければ幸いです。